

I 学校の概要

1 名称・所在地（校名の由来）

(1) 創立・名称

明治20年5月26日、藤代小学・石渡小学・町田小学・船水小学の四小学校が統合、藤代川面に開校し致遠尋常小学校と称された。

(2) 校名の由来（出典 論語の子張第19の1章）

「子夏曰雖小道必有可觀者。致遠恐泥。是以君子不為也。」

（小道と雖も必ず観るべきものあり、遠きを致すには泥まんことを恐る）

※ いくら小さな道であっても、どこかにきつと見どころがある。しかし、あまりそれに深入りするとそこにはまり込んでしまう心配がある。それ故、遠大な理想を極め、達せんと志をもつ君子は小道を学ばないのである。

この意より【遠大な理想を極め、達せんと努力する精神を取り上げている】
（遠きを致す＝遠大な理想を極める 意）

2 校章（校章の由来）



昭和12年5月26日、創立50周年を記して、旧校舎の跡地である旧藤代村槌子（筒子崎）を振って、藤の花で『学』と『筒』を囲んだものである。

3 校訓

(1) 校訓「至誠」の由来

【至誠】 孟子

悦親有道。反身不誠、不悦於親矣。誠身有道。
不明乎善、不誠其身矣。是故誠者、天之道也。
思誠者、人之道也。至誠而不动者、未之有也。
不誠未有能动者也。（離婁上）

※親に悦ばるるに道有り。身を反みて誠ならざれば、親に悦ばれず。身に誠なるに道有り。善に明らかならざれば、其の身に誠ならず。是の故に誠は、天の道なり。誠ならんと思ふは、人の道なり。至誠にして動かざる者は、未だ之れ有らざるなり。誠ならずして未だ能く動かす者有らざるなり。

【親に喜ばれるには方法がある。『それは誠があることだ』。我が身を反省して誠がなければ、親に喜ばれはしない。我が身を誠にするには方法がある。『それは何が善であるかを明らかにすることだ』。何が善であるかを知らないようでは、その身を誠にすることはできない。こういうわけで誠というものは、実に天の道なのである。そして、我が身を誠にしようと努力するのが、人間の道なのである。こちらが本当の誠を尽くしても、それに感動しないような者は、今まであった例がない。（また）こちらが不誠実でありながら、人を感動させることのできた者も、あった例がないのである】